

令和 7 年度 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産地域連絡会議 大宜味村の取組

1. やんばる 3 村合同ビーチクリーン活動

国頭村、大宜味村、東村のやんばる 3 村世界自然遺産協議会による「世界自然遺産登録 4 周年記念 やんばるビーチクリーン」を 10 月 18 日に開催しました。

本村では、世界自然遺産及びやんばる国立公園の入り口でもある道の駅おおぎみ前の津波海岸において、世界自然遺産推進共同企業体の所属団体や、一般参加者の皆さんのご協力により実施することが出来ました。

2. ツルヒヨドリ防除作業

特定外来生物ツルヒヨドリへの対策として、環境省の事業を活用し防除及びモニタリング調査を実施しました。

また、新規で判明した生息箇所については環境省職員に御協力をいただき、本村担当職員等により防除作業を実施しており、今後もモニタリングを行う予定としております。

3. ノネコ対策

ノネコ対策については、昨年度までと同様に委託業務にて譲渡強化事業等を実施しており、捕獲したネコについて避妊去勢手術を実施し譲渡に向けて譲渡会や保護施設の開放等により譲渡強化・普及啓発を実施しております。

今後も継続的に事業を実施し、飼い主不明のネコや避妊去勢されていないネコの減少に努めて参ります。

4. 密猟防止対策等

本村ではエコツーリズム推進集落支援員により、散策道の点検やパトロールを実施しており、観光ガイドの協力も頂きながら、環境の保全活用を進めています。

その際に設置済みの虫トラップや採取を行っている方を発見してた場合は、3 村ルールの周知徹底や環境省によるトラップの撤去など取り組んできております。

5. エコツーリズム推進全体構想

本年度も継続して全体構想の策定に取り組んでおり、ター滝や平南川の特定観光資源指定に向けて環境省の助言をいただきながら進めております。

ター滝は本村の重要な観光資源でもありますので、今後も保全活用に向けて取り組んでまいります。